

連合自治会集会所が完成しました

この建物は長崎市の補助金を活用して完成した施設です

高齢者の「ふれあいサロン」や、町内の「集会や催し物」等に活用予定。



八月に入ってから、前庭の舗装ができれば順次備品を整備して利用できるようになります。小さいながらも明るくて、とても居心地のいい施設です。

倉庫部分を大きく取っているのは深堀地区コミュニティ協議会のテントや、机など格納するためです。各団体への貸し出しがまとめてできるようスペースを大きくとりました。



舞台発表の部は、学習グループをはじめ、有志による歌やおどりなど時間を忘れるほどの賑わいです。今年、年度初めから新型コロナウイルスの影響で、何もかもが中止や延期となり、気分的に落ち込むことばかりでした。ふれあいまつりは感染対策をしっかり行いながら、楽しい祭りを町内で共有する一日としたいと思います。まだ少し先ですが、皆さんぜひお出かけ下さいませようスタッフ一同お待ちしております。

深堀ふれあいまつりを開催します
十一月十四日 ふれあいセンター内で学習グループと、町内有志の作品展示
開催時間 午前九時～午後五時まで
十一月十五日 一、ふれあい広場会場において地域で回そう市（地場産品の販売）
午前九時～十一時までを予定
二、ふれあいセンター内作品展 午前九時～十二時まで
ふれあいセンター舞台発表 午前九時三十分～十二時まで
いずれも現時点での予定です。詳細は自治会回覧やポスターでお知らせします。
例年、ふれあい広場での販売は多くの人が集まり大盛況です。
出店して頂いているお店の方も街の賑わいを作り出す大きな助けを担って頂いています。
ふれあいセンター館内では、学習グループを中心に、日頃の練習成果を一堂に展示して、作品展を開催しています。



令和元年度風景

地域情報紙 第7号

ふかほり

発行 深堀地区コミュニティ協議会
所在 深堀地区ふれあいセンター内
長崎市深堀町5丁目182番地
電話 871-2387 fax兼用
令和2年8月 発行

新型コロナウイルス感染拡大を防ごう

各団体が計画していた活動のすべてが、新型コロナウイルス感染拡大のため、開催が中止となりました。六月より規制しながらも、それぞれの活動も再開されるようになりましたが、本来の社会活動に戻るにはまだまだ時間もかかりそうです。

非常事態宣言の解除に合わせ、日常が少しずつ取り戻されてくると、当初の緊張も緩みがちになりますが、今一度気を引き締めて、できる対策をしっかり守る事が「自分も・家族も・周りの人も」守る事です。児童、生徒の皆さんも、楽しい夏休みが短くなり、少しかわいそうな気もしますがめったにない貴重な経験と思つて、前向きに頑張つてほしいと思います。



「お互いに、三密を避けて息の長い予防に努めましょう」



今後の町内行事情報

- ◎六月二日～八月二十日 フォトコンテスト「撮ってみゅーで深堀」募集終了。
深堀を題材にした写真の応募を受け、今後の予定は、応募写真の中から優秀作品の選定を行い、深堀カレンダーへ掲載して町内の皆さんへ紹介させていただきます。
- ◎高齢者ふれあい食事会は未定(予定として10/23、11/27、12/11、1/22、2/26、3/26)
コロナウイルスの影響で自粛していましたが、衛生に十分配慮しながら再開を目指します。対象者の方には、民生児童委員よりお誘いしますので、多数のご参加をお願いします。
- ◎十月四日 深堀地区敬老祝賀会は中止が決まりました。
今年も敬老祝賀会を開催することとして準備を進めていましたが、市内での感染拡大を受け再検討いたしました。参加者への十分な対策が準備できないことから中止となりました。
- ◎新年一月十日の深堀地区成人式は開催します。
新成人の門出を祝う大切な式典ですので、感染対策を講じながら開催する予定です。

深堀「樋口家」に市長より感謝状が贈呈されました。



本町地区の武家屋敷として、城下町のたたずまいを残す樋口家に伝わる古文書を、この度長崎市へ寄贈されました。深堀にとっても、歴史を知るうえで大変貴重なものです。個人が所有している歴史の文献の多くが、失われつつある中で大変有難いことだと思います。

「城下町深堀」の風景と、文献から読み解く物語がひとつになれば、今まで以上に歴史の厚みが増してくると思います。日頃からまちづくりには大変協力を頂いていますが、今回のことは広く町内に知って頂きたく記事にさせていただきました。

深堀の歴史的な景観は、そのほとんどが個人の協力によって現在維持されています。

現存する石塀も、それぞれの所有者のご理解で、現在まで維持管理がなされています。

本町地区のように、町全体で景観を醸し出している所もあれば、当時の通りがそのまま現在の道路として残っているもの。また、恵比須像のように点在して町全体の雰囲気を作り出しているもの。その、それぞれが深堀の魅力を創出しています。



深堀地区消防団と協議した結果、本年度予算で、一番中心部から遠い、大籠地区の公民館に設置することが決まりました。今後も地区の消防団と、密に協議をしながら優先順位を決めて計画的に設置します。AEDは、講習さえ受けておけば誰でも簡単に操作ができます。深堀では、防災訓練やふれあいセンター講座などで、講習会も開いていますので、是非参加してみてください。一度受けただけでは、いざという時に体が動きませんので何回も体験していた方がいいですよ。他人を助けるではなく、まずは家族のために。

アを選定して三〜四カ所の設置を計画しています。

今年よりAED設置事業が始まります

深堀地区コミュニティ協議会の防災対策事業として、エリ

深堀では、六月から八月二十日までの期間、自慢の場所や風景、地域に残る行事の写真などを「撮ってみゆーで深堀」と題し、深堀再発見写真を募集しました。募集期間に撮った写真に限らず、あなたが自慢したい深堀を応募していただき、応募作品の中から入選作品十四点は、「深堀カレンダー」に載せて紹介するように計画しています。それぞれの見方によって、今まで気づかぬ深堀の魅力が、再発見できることを期待しています。カレンダーは深堀地区まちづくり推進協議会の「恵比須部会」が担当して作成し、十一月に開催予定の「ふれあいまつり」で、販売を予定しています。まちおこしの、ふるさとカレンダーをぜひ活用下さい。

深堀の良さを再発見しませんか

大雨や台風の季節です、避難は早めに

深堀地区は、市内でも避難者の数が大変多いところです。今年の避難所運営は、なるべく間隔を空けてマットを設置し、手指消毒やマスクの着用など、感染予防対策をしながらの運営です。

これから台風の季節になり避難情報が発令されることも予想されますが、ひどくなるまで待つのではなく、早目の避難を心がけてください。(避難所はあなたのために開設しています)

避難所に来るとき

- ◎避難所が開いているか確認してください
- ◎家のガス、戸締りと隣に一声かけて
- ◎避難所へは二食分と日持ちの良いパン等
- ◎薬の必要な人は、二日分くらいは携行

避難所では

- ◎毛布は各自一枚です
- ◎一時帰宅、外出は必ず係に届けてから

ルールを守り気持ちいい避難所に



ボランティア活動に汗する皆さんへ感謝



◎旧婦人会館跡地に、連合自治会集会所を建てましたが、工事の関係で前庭の舗装整備が遅くなり、雑草が生い茂って気になっていました。本町にお住いの男性が、何日もかけきれいに除草してくださいました。八月に入ったら舗装工事にかかります。有難うございました。◎大籠町で個人一名の環境美化活動と、一団体が花いっぱい運動で受賞されました。受賞おめでとう御座います。このほかにも、深堀公園の除草や深堀広場の清掃など多くの方々が、目立たない所で汗を流して協力して頂いています。「感謝しています」

深堀のまちづくりに力をお貸しください。深堀では、町内の皆さんと、将来の深堀に何が必要なのかを共に話し合いを持ちながら、まちづくりを進めたいと思っています。もちろん、全部の思いを実現することは不可能に近いことですが、共通する思いを集約しながら、一つ一つを形にできればと思います。今は、コロナウイルス感染防止の立場から、多くの皆さんに集まって頂くことができませんが、時期を見て実現したいと思っています。